

～海を育む水源の森に～  
**JTの森積丹**  
 積丹町 × JT

## 2011年秋の 森林保全活動を実施

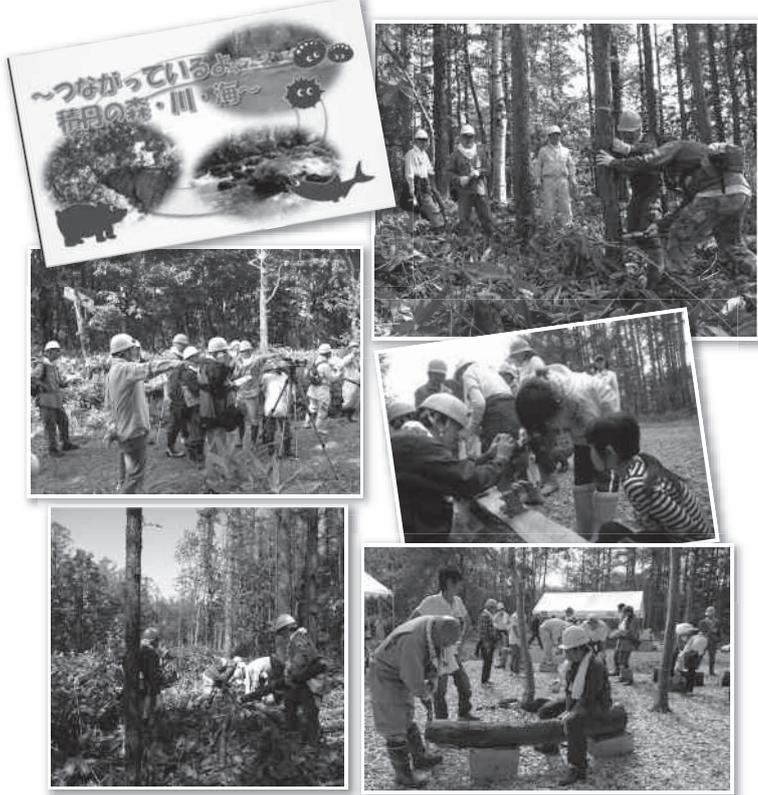
9月10日、今年2回目となるJTの森積丹・森林保全活動が、秋晴れの下、木村宏日本たばこ産業㈱代表取締役社長、野呂田隆史北海道水産林務部長と町民の皆さんやJT社員とその家族など総勢180名が参加し、美川流域エリアで開催されました。

### 木々の生育を助ける 除伐作業を体験

今回の活動では春に植林活動を行った場所周辺で、人工林の生育に必要な作業の一つ「除伐」を体験しました。

「木々を育てるには、植林の後、生育が遅れた木の伐採や間引きを人の手により行い、木々が育つ環境を整えてやる必要があります。」との説明を受け、実際に行われるチェーンソーでの除伐の様子を見学した後、グループに分かれ森に入り、のこぎりでの伐採と、伐採後の木の長さを一定に切りそろえる「玉切り」を体験しました。

生育が遅れた細い幹のカラマツとはいえ、慣れないのこぎり



### 子どもたちの目に輝き 森の体験活動

町商工会女性部の手作りによる、浜鍋とおにぎり等の昼食でおなかを満たした後、午後からは、JTの森周辺の環境生態系調査体験、丸太を使ったベンチづくりと枝など木端を活用したクラフト制作の活動が行われ、子どもも大人も時間を忘れて楽しみました。

環境生態調査体験に参加した外崎賢祥くん(来岸町・小2)は、

「野鳥の探し方や、小型カメラによる草の中の生き物調査など説明がわかりやすく、まだいろいろ聞きたかったです。」また、クラフト制作に参加した佐藤はるかさん(野塚町・小2)は、「木を組み合わせ、ブタと雪だるまを作りました。お母さんから『上手に作れたね』と言われました。のこぎりの作業は大変だったけど、面白かったです。」と、興味が広がる森の中の体験活動の様子を話してくれました。

JT北海道支店・進社会環境推進室長代理は「森を通じて、これからも交流を深めていきたいと思っています。多くの皆さんに参加していただきたいですね。」と、また、野呂田北海道水産林務部長は、「森林づくりを通じて、町民の皆さんとJTの皆さんとの交流は、道内で最も先達的で大規模。地域づくりにも有意義なこと。」と激励されました。

JTの森積丹の10年間の活動は今年から始まったばかりですが、これからの森林整備にあわせ、町民の皆さんとの様々ながらに広がるのが期待されています。

### 国際森林年 官民協働での森林づくり

JTの森積丹の事業は、北海道が企業と市町村を仲介し、道内の森林づくりを推進する「ほっかいどう企業森林づくり」制度により行われています。

松井町長と高橋はるみ北海道知事、小林秀行JT北海道支店長の3者により、このたび国際森林年にちなんだ社会貢献事業についての鼎談が行われました。

この鼎談は、9月25日付の北海道新聞に掲載されました。※鼎談：3者による座談会



2011年9月25日(日)北海道新聞朝刊

全道書道コンクール

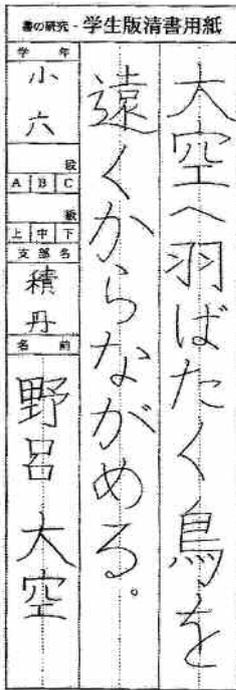
硬筆の部で最高賞受賞

野呂大空さん（美小6年）

国際書道協会が主催する第42回全道書道コンクール「小学5・6年生の野呂大空さんが最高賞に選ばれ、8月20日に札幌市教育文化会館で表彰されました。

毛筆や硬筆、ペン字など25部門の応募総数10,998点の内、小学校5・6年硬筆の部に応募した作品、1,500点の中から見事、最高賞を受賞しました。

8月24日には、野呂さんが通う美国町の書道教室で報告会が行われ、「最高賞を取ることができ、とてもうれしい。今度は毛筆の部で頑張りたい。」と、今



後の抱負を話し、また、書道教室の佐藤猛先生は、「何年も書道を教えているがこの教室から最高賞が出るのは初めて。今回の受賞は、他の生徒の励みにもなります。」と話していました。

自己記録に挑戦！  
第37回 小学校陸上競技大会

町教育委員会が主催する第37回陸上競技大会が9月9日、研修広場で行われました。町内4校の児童が一堂に会して行われるこの大会では、選手を代表して野塚小学校4年生の生駒香織さんの力強い選手宣誓でスタート。雨が降るあいにくのコンディションとなりましたが、選手は友達や父母からの声援を受け、短距離走や走り幅跳び、ボール投げなど各種競技で自分の力を一杯出しきりました。

【大会新記録】

5年生女子800m  
芳村由羽さん（美国小5年） 3分12秒63



ゴールを目指して  
美国中学校競歩遠足

美国中学校（法本明洋校長）競歩遠足が9月9日開催され、婦美町から余別町までの23・8kmのコースに生徒53人と教職員5人が体力の限界と忍耐力に挑戦しました。

これは、長距離を歩くことで達成感や仲間意識などを育てようとうと全校一斉に行っているもので、午前8時45分に法本校長の号砲で婦美町のグリーンホリデ

1前をスタート。タイムを競って走ったり、

仲間と一緒に歩いたり、それぞれの自分に合ったペースで、チェックポイントなどで待つ先生や保護者に励まされながら、ゴールの余別町サクラマス・サントチュアリーセンターを目指しました。

先生を含む3人が新記録でゴールしたものの、雨が強まり途中でやむなく中止となりました。ゴールした中学生の記録は次

のとおりです。

- 1位 長谷川孝行 君（3年） 1時間58分00秒
- 2位 三國 恭兵 君（2年） 1時間59分58秒

